

MCC 製品を LabVIEW ソフトウェアでお使いいただくために

●目次●

1. LabVIEW用ドライバーのインストール-----	2
2. LabVIEW ソフトウェアでの使用開始手順-----	3
3. MCC USB-1208FS接続の I表示例-----	6

## 1. LabVIEW 用ドライバーのインストール

以下の LabVIEW 用ドライバーをインストールします。

お手持ちの LabVIEW ソフトウェアのバージョンによりインストールドライバーが替わります。

- お手持ちのソフトウェアが 32bit LabVIEW ver8.2.1 以降の場合  
ULx for NI LabVIEW ver1.01 を選択してください。
- お手持ちのソフトウェアが LabVIEW ver6.0-8.2 の場合  
UL for NI labVIEW ver7.11a を選択してください。

インストールに関しては、「MCC 製品 インストールマニュアル」をご参照ください。

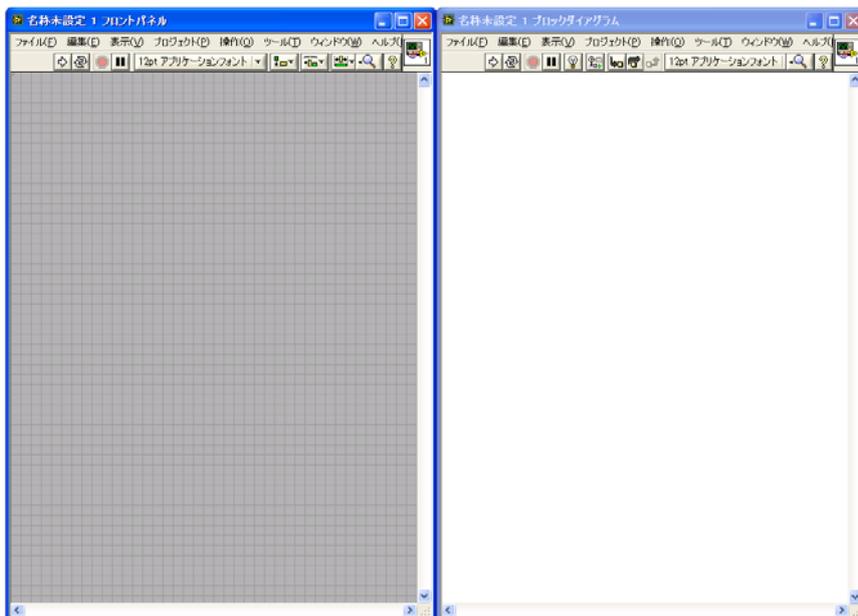
インストール項目で、UL x (32bit LabVIEW ver8.2.1 以降) もしくは UL (LabVIEW ver6.0-8.2) を追加選択してください。

## 2. LabVIEW ソフトウェアでの使用開始手順

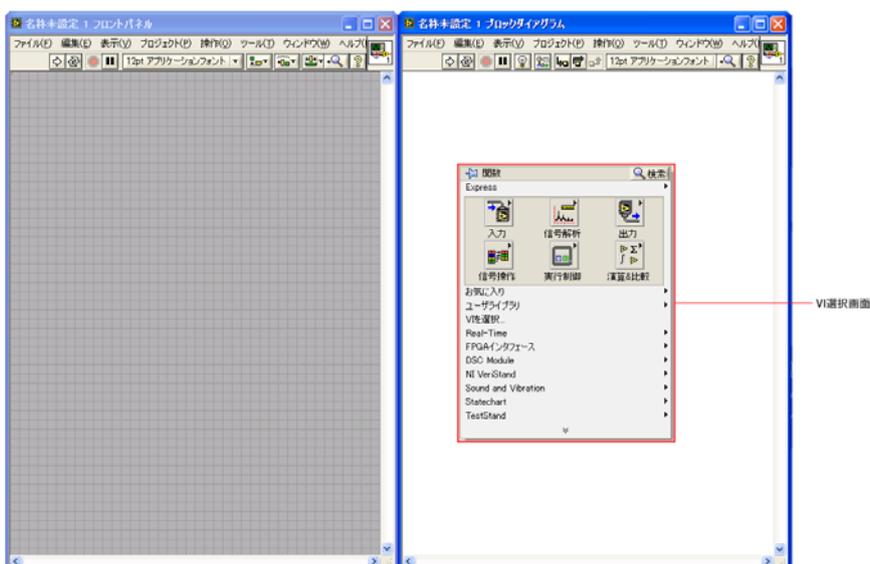
- 1) 上記ドライバーのインストールが完了した PC に MCC 製品を接続します。  
PC へ MCC 製品の認識は、「MCC 製品 インストールマニュアル」に沿って行ってください。
- 2) Instacal にて MCC 製品を認識後、そのままお手持ちの LabVIEW ソフトウェアを起動します。  
起動後 [新規] → [ブランク VI] をクリックします。



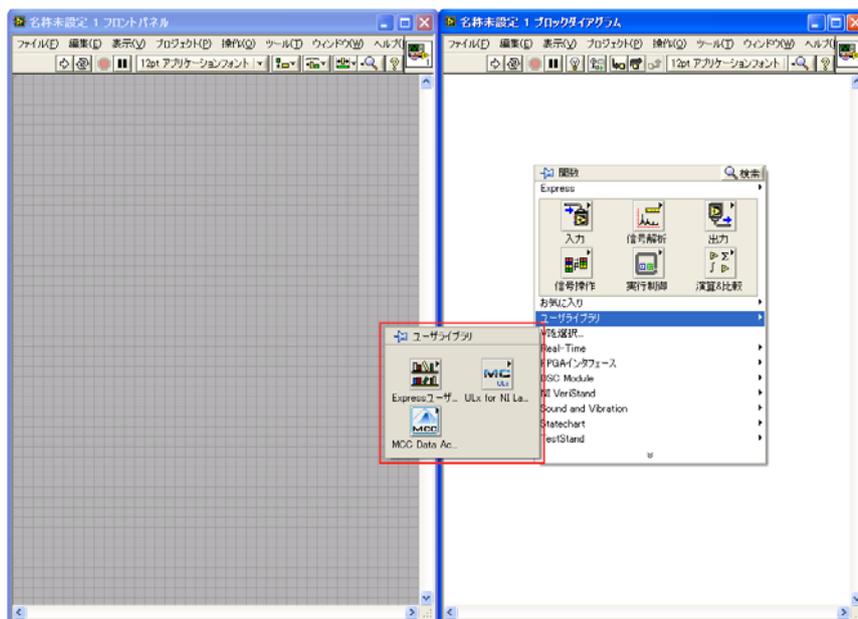
- 3) Ctrl+T キーを押すことで、下記のようにフロントパネルとブロックダイアグラムが表示されます。



- 4) ブロックダイアグラム枠内にて、右クリックします。  
VI 選択画面が表示されます。



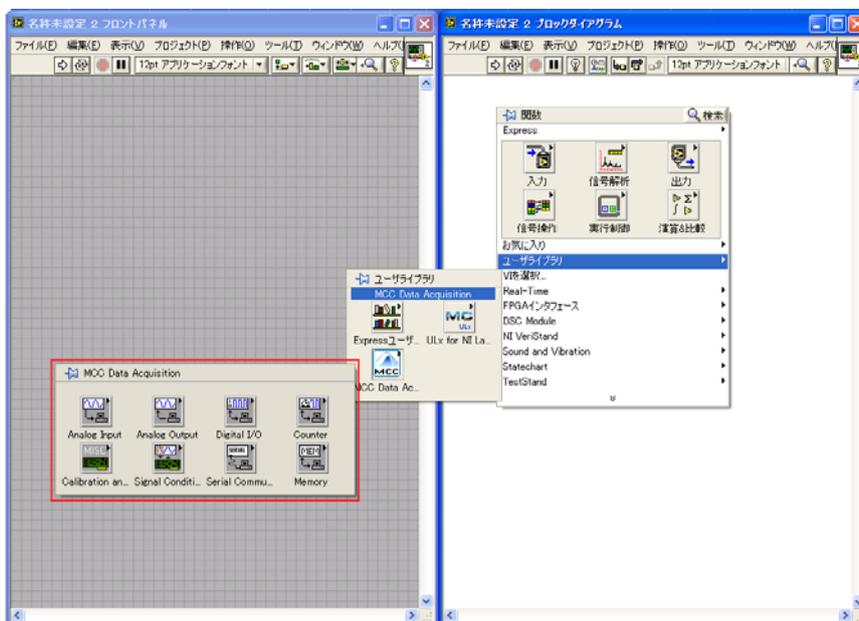
- 5) ユーザライブラリ内にインストールされた MCC 製品のドライバー (ULx for NI LabVIEW もしくは MCC Data Acquisition) が追加されています。  
ご使用されるドライバーVI へマウスを移動すると、使用可能な VI が表示されます。



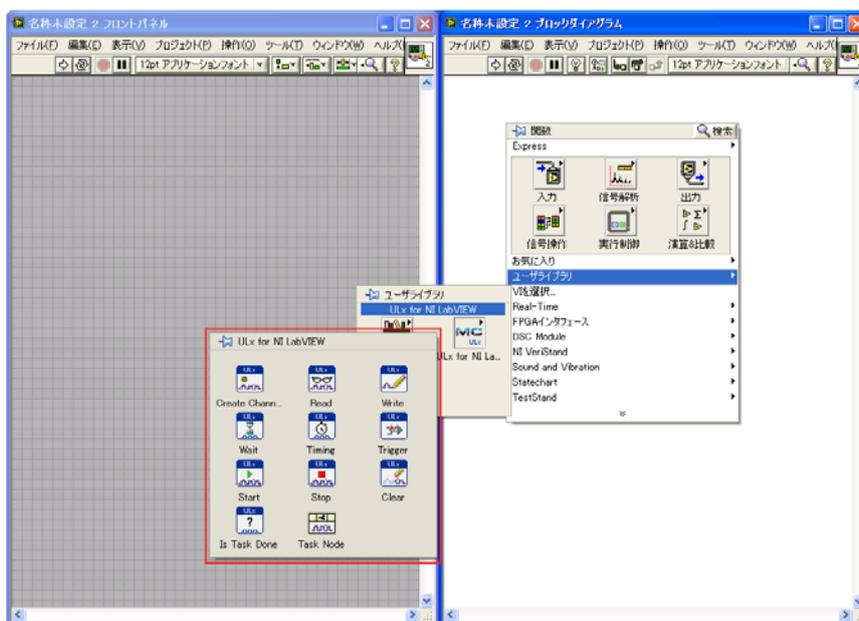
### 3. MCC USB-1208FS を接続の 1 表示例

使用可能な VI が表示されます。

MCC Data Acquisition VI を選択時



ULx for NI LabVIEW VI を選択時



ご使用にあたって LabVIEW ソフトウェアのルールに沿って行って下さい。

尚、LabVIEW ソフトウェアのプログラミングについてはナショナルインスツルメンツ様へお問い合わせください。